

2025年度 シラバス

科目名	人間の尊厳と自立						
担当教員	松浦 富美恵						
実務経験	無 / (有) (介護老人保健施設で相談員、特別養護老人ホームで施設長の実務経験						
学科学年	介護福祉科/1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数	30
授業目標	日本における福祉の考え方やその変遷、世界における人権尊重への取り組みについて理解し、今後の福祉のあり方や自立支援についての考察することができる。						
授業内容	第 1回	オリエンテーション 人間の尊厳と利用者主体					
	第 2回	人権思想の潮流とその具現化					
	第 3回	人権や尊厳に関する日本の諸規定					
	第 4回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷①					
	第 5回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷②					
	第 6回	人権尊重と権利擁護①					
	第 7回	人権尊重と権利擁護②					
	第 8回	人権尊重と権利擁護③					
	第 9回	自立の概念の多様性					
	第10回	自立とは 自己選択・自己決定・自律					
	第11回	介護を必要とする人の自立と自立支援①					
	第12回	介護を必要とする人の自立と自立支援②					
	第13回	介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性①					
	第14回	介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性②					
	第15回	前期定期試験					
使用教材	最新介護福祉士養成講座 1 人間の理解（第2版）／中央法規出版						
評価方法	定期試験100%						
	授業の取り組み姿勢などから必要に応じ5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	久川	田井 平石

2025年度 シラバス

科目名	人間関係とコミュニケーション						
担当教員	石川 幸子						
実務経験	無 / (有) (高齢者施設において介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科 1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数	30
授業目標	介護実践のために必要な人間の理解や、他者への情報の伝達に必要な、基礎的なコミュニケーション能力を養う。						
授業内容	第 1回	講義ガイダンス 人間の誕生と介護の関係					
	第 2回	自分を理解する、他者を理解する					
	第 3回	自己覚知、自己開示、ジョハリの窓					
	第 4回	発達心理学からみた人間関係					
	第 5回	他者とのかかわり、集団とのかかわり					
	第 6回	集団のなかの人間関係、ストレス①					
	第 7回	ストレス②					
	第 8回	コミュニケーションの概念、基本構造					
	第 9回	コミュニケーションの手段①					
	第10回	コミュニケーションの手段②					
	第11回	人間関係とコミュニケーション					
	第12回	対人援助における基本的態度					
	第13回	組織の条件とコミュニケーションの特徴					
	第14回	組織において求められるコミュニケーション					
	第15回	定期試験					
使用教材	最新介護福祉士養成講座 1 人間の理解 第2版 中央法規						
評価方法	筆記試験 80%						
	ワークシート 20%						
	授業参加度(出席率、提出物、授業への意欲) 5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	石川	田井 平石

2025年度 シラバス

科 目 名	人間関係とコミュニケーション						
担当教員	石川 幸子						
実務経験	無 / (有) (高齢者施設において介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科 1年	前期 ・ (後期)	(講義) ・ 実習	単位数		時間数	30
授業目標							
授業内容	第 1回	ヒューマンサービスとしての介護サービス					
	第 2回	介護実践におけるチームマネジメント②					
	第 3回	介護実践におけるチームマネジメント③					
	第 4回	介護実践におけるチームマネジメント④					
	第 5回	ケアを展開するためのチームマネジメント①					
	第 6回	ケアを展開するためのチームマネジメント②					
	第 7回	ケアを展開するためのチームマネジメント③					
	第 8回	ケアを展開するためのチームマネジメント④					
	第 9回	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント①					
	第10回	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント②					
	第11回	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント③					
	第12回	人材育成・自己研鑽のための		チームマネジメント④			
	第13回	組織のための目標達成のための		チームマネジメント①			
	第14回	組織のための目標達成のための		チームマネジメント②			まとめ
	第15回	定期試験					
使用教材	最新介護福祉士養成講座 1 人間の理解 第2版 中央法規						
評価方法	筆記試験 80%						
	ワークシート 20%						
	授業参加度(出席率、提出物、授業への意欲) 5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	石川	田井 平石

2025年度 シラバス

科 目 名	日本文化						
担当教員	福田 弘美						
実務経験	無 / 有 ()						
学科学年	介護福祉科1学年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数	30
授業目標	日本独自の式や行事等を理解する。						
授業内容	授業	内 容					
	第 1回	自己紹介・日本人の社会ルール					
	第 2回	二十四節気について・日本の文化① 4月					
	第 3回	日本の文化② 5月					
	第 4回	日本の文化③ 6月					
	第 5回	日本の文化④ 7月					
	第 6回	日本の文化④ 7月					
	第 7回	日本の文化⑤ 8月					
	第 8回	日本の文化⑥ 9月					
	第 9回	日本の文化⑦ 10月					
	第10回	日本の文化⑧ 11月					
	第11回	日本の文化⑨ 12月					
	第12回	日本の文化⑩ 1月					
	第13回	日本の文化⑪ 2月					
	第14回	日本の文化⑫ 3月					
	第15回	まとめ（前期定期試験）					
使用教材	適宜プリント配布						
評価方法	定期試験						
	授業取り組み姿勢等により 5 点以内の加点						

教務主任	学科長	担任
		

2025年度 シラバス

科目名	ビジネスマナーⅠ						
担当教員	福田 弘美						
実務経験	無 / 有 ()						
学科学年	介護福祉科1学年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	/	時間数	15
授業目標	基本的なビジネスマナーを理解し身に付ける。						
授業内容	授業	内 容					
授業内容	第1回	挨拶の基本					
	第2回	社会人としての心構え					
	第3回	基本動作					
	第4回	来客対応（名刺の交換・席次など）					
	第5回	ビジネス文書・礼状の書き方					
	第6回	ビジネス文書・礼状の書き方					
	第7回	挨拶と基本動作の復習と実習前研修					
	第8回	まとめ（前期定期試験）					
	第9回						
	第10回						
	第11回						
	第12回						
	第13回						
	第14回						
	第15回						
使用教材	適宜プリント配布						
評価方法	定期試験100点						
	授業の取り組み姿勢などから必要に応じ5点以内の加点						

教務主任	学科長	担任
菅井	石川	田井 平石

2025年度 シラバス

科目名	介護の基本Ⅰ						
担当教員	平石 基樹						
実務経験	無 / <u>有</u> (高齢者施設で介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科 1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数	30/60
授業目標	1. 介護が生まれた背景、介護ニーズについて理解することができる。 2. 介護の基本である尊厳の保持や自立支援について理解することができる。 						
授業内容	第 1回	オリエンテーション、介護の成り立ち①					
	第 2回	介護の成り立ち②					
	第 3回	介護の成り立ち③					
	第 4回	専門職による「介護」が誕生した社会的な背景①					
	第 5回	専門職による「介護」が誕生した社会的な背景②					
	第 6回	介護の概念の変遷①（1970年代）					
	第 7回	介護の概念の変遷②（1980年代）					
	第 8回	介護の概念の変遷③（1990年代）					
	第 9回	介護の概念の変遷④（2000年以降）					
	第10回	介護福祉の理念とは					
	第11回	尊厳を支える介護					
	第12回	自立を支える介護					
	第13回	社会福祉士及び介護福祉士法①					
	第14回	社会福祉士及び介護福祉士法②					
	第15回	前期定期テスト					
使用教材	テキスト）最新介護福祉士養成講座 3 介護の基本Ⅰ（第2版）/中央法規出版 適宜、配布プリントを用いる						
評価方法	筆記試験80%、ワーク20%（前期40%）						
	授業態度						

	教務主任	学科長	担任
		石川	田井 平石

2025年度 シラバス

科目名	介護の基本Ⅰ						
担当教員	平石 基樹						
実務経験	無 / <u>有</u> (高齢者施設で介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科 1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数	30/60
授業目標	1. 介護を必要とする人の生活の個別性に対応するための、生活の多様性や社会との かかわりがわかる。 2. ICFの視点に基づいて、自立支援のための環境整備や介護予防、リハビリ テーション等の意義や方法がわかる。						
授業内容	第 1回	私たちの生活の理解					
	第 2回	介護を必要とする人たちの暮らし① 高齢者の暮らし					
	第 3回	介護を必要とする人たちの暮らし② 障害者の暮らし					
	第 4回	介護を必要とする人たちの暮らし① 暮らしや歴史を聴く場合の注意点					
	第 5回	「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解					
	第 6回	生活のしづらさについて考える					
	第 7回	「生活のしづらさ」に対する支援					
	第 8回	高齢者のためのフォーマルサービスの概要					
	第 9回	障害者のためのフォーマルサービスの概要					
	第10回	生活を支えるインフォーマルサービス① 費用・フォーマルサービスとの関係					
	第11回	生活を支えるインフォーマルサービス② 種類・提供者・視点					
	第12回	地域連携① 地域連携の意義と目的					
	第13回	地域連携② 地域連携にかかわる機関の理解					
	第14回	地域連携③ 利用者を取り巻く地域連携の実際					
	第15回	後期定期テスト					
使用教材	テキスト) 最新介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ (第2版) / 中央法規出版 適宜、配布プリントを用いる						
評価方法	筆記試験80%、ワーク20% (後期60%) 授業態度						

教務主任	学科長	担任
菅	石川	田井 平石

2025年度 シラバス

科目名	介護の基本Ⅱ						
担当教員	田井 朋子						
実務経験	無 / (有) (高齢者施設で介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科 1年	(前期) ・ 後期	(講義) ・ 実習	単位数		時間数	30/60
授業目標	1. 介護福祉士の役割と機能、求められる専門職像についての知識を習得する。 2. 介護福祉の専門性と倫理について理解することができる。						
授業内容	第1回	介護福祉士の活動の場と役割 ①地域包括ケアシステム、介護予防					
	第2回	介護福祉士の活動の場と役割 ②医療的ケア、人生の最終段階の支援					
	第3回	介護福祉士の活動の場と役割 ③災害時の支援					
	第4回	介護福祉士の活動の場と役割 ④災害時の支援					
	第5回	介護福祉士養成教育の始まり					
	第6回	介護福祉現場で中心的役割としての介護福祉士への期待					
	第7回	介護福祉士を支える団体					
	第8回	日本介護福祉士会倫理綱領、不適切なケア① DVD学習					
	第9回	日本介護福祉士会倫理綱領、不適切なケア②					
	第10回	日本介護福祉士会倫理綱領、不適切なケア③					
	第11回	普遍的生命倫理原則①					
	第12回	普遍的生命倫理原則②					
	第13回	普遍的生命倫理原則③					
	第14回	介護福祉士に求められる職業倫理					
	第15回	前期定期試験					
使用教材	最新 介護福祉士養成講座 3 介護の基本Ⅰ(第2版) / 中央法規 DVD 適宜、配布プリントを用いる						
評価方法	筆記試験 100% (前期40%) 授業の取り組み姿勢、ワークシートなどから必要に応じ5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科目名	介護の基本Ⅱ						
担当教員	田井 朋子						
実務経験	無 / (有) (高齢者施設において介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科 1年	前期 ・ (後期)	(講義) ・ 実習	単位数	/	時間数	30/60
授業目標	①介護を必要とする人の生活の個別性に対応するための、生活の多様性や社会との かかわりがわかる。 ② ICFの視点に基づいて、自立支援のための環境整備や介護予防、リハビリ テーション等の意義や方法がわかる。						
授業内容	第1回 日本介護福祉士会の倫理綱領、身体拘束禁止・虐待防止 第2回 自立支援の考え方① 自立支援とエンパワメント 第3回 自立支援の考え方② 意思決定支援 第4回 自立支援の考え方③ バリアフリー・ユニバーサルデザイン 第5回 自立支援とリハビリテーション① リハビリテーションとは 第6回 自立支援とリハビリテーション② リハビリテーションの理念 第7回 自立支援とリハビリテーション③ リハビリテーションの実際 第8回 自立支援とリハビリテーション④ リハビリテーションに関する専門職 第9回 自立支援とリハビリテーション⑤ 介護福祉士の役割 第10回 自立支援と介護予防① 介護予防の概要、種類と特徴 第11回 自立支援と介護予防② 高齢者の身体特性と介護予防 第12回 自立支援と介護予防③ 介護予防の実際 第13回 自立支援と介護予防④ 介護福祉士の役割、ミニテスト 第14回 総まとめ 国家試験問題 第15回 後期定期試験						
使用教材	最新 介護福祉士養成講座 3 介護の基本Ⅰ(第2版) / 中央法規 適宜、配布プリントを用いる						
評価方法	筆記試験100% (後期60%) 授業の取り組み姿勢、ワークシートなどから必要に応じ5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
	(田井)	(石川)	(田井) (平石)

2025年度 シラバス

科目名	コミュニケーションⅠ						
担当教員	田井 朋子						
実務経験	無 / ☒ (高齢者施設で介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数	30
授業目標	1. 信頼関係の構築に必要なコミュニケーションの意義や技法を理解する。 2. 障害の特性に応じたコミュニケーション技術を習得し、実践できる。						
授業内容	第 1回	ガイダンス・介護におけるコミュニケーションの基本①					
	第 2回	介護におけるコミュニケーションの基本②					
	第 3回	介護におけるコミュニケーションの基本技術①					
	第 4回	介護におけるコミュニケーションの基本技術②					
	第 5回	コミュニケーション障害の支援方法①(視覚障害)					
	第 6回	コミュニケーション障害の支援方法②(聴覚障害)					
	第 7回	コミュニケーション障害の支援方法③(認知症①)					
	第 8回	コミュニケーション障害の支援方法④(認知症②)					
	第 9回	コミュニケーション障害の支援方法⑤(うつ病・統合失調症)					
	第10回	コミュニケーション障害の支援方法⑥(構音障害・失語症)					
	第11回	コミュニケーション障害の支援方法⑦(高次脳機能障害)					
	第12回	コミュニケーション障害の支援方法⑧(知的障害・重症心身障害)					
	第13回	コミュニケーション障害の支援方法⑨(発達障害)					
	第14回	全体まとめ					
	第15回	前期定期試験					
使用教材	最新 介護福祉士養成講座5 コミュニケーション技術(第2版) 中央法規						
評価方法	1 筆記試験 80点 2 授業参加度(グループワーク、提出物) 20点 3 授業態度 5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科目名	生活支援技術Ⅰ						
担当教員	平石 基樹						
実務経験	無 / (有) 介護施設で介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科 1年		前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数 60/90
授業目標	1. 尊厳の保持や自立支援、本人主体の生活継続において必要な知識を理解する。 2. 介護を必要とする人の能力の活用・発揮し、自立を支援するための生活支援技術 の基礎的な知識・技術を習得する。						
授業内容	第 1回	生活支援の理解①	第16回	自立に向けた移動・移乗の介護 水平移動、上方移動			
	第 2回	生活支援の理解②	第17回	自立に向けた移動・移乗の介護 移乗/ 片麻痺(一部介助)、コミュニケーション①			
	第 3回	生活支援と介護過程 安楽姿勢の介助	第18回	自立に向けた移動・移乗の介護 移乗/ 片麻痺(一部介助)、コミュニケーション②			
	第 4回	ベッドメイキング①	第19回	自立に向けた移動・移乗の介護 移乗/ 片麻痺(全介助)、コミュニケーション①			
	第 5回	ベッドメイキング②	第20回	自立に向けた移動・移乗の介護 移乗/ 片麻痺(全介助)、コミュニケーション②			
	第 6回	ベッドメイキング③	第21回	自立に向けた移動・移乗の介護 移乗/ 車いす→いす、移動用リフト			
	第 7回	自立に向けた移動・移乗の介護 車いす介助/杖歩行 介助の基本	第22回	自立に向けた移動・移乗の介護 仰臥位→車いす、褥瘡の好発部位			
	第 8回	自立に向けた移動・移乗の介護 車いす介助(平地・坂道)/杖歩行	第23回	小テスト 自立に向けた身じたくの介護 洗顔、整髪			
	第 9回	自立に向けた移動・移乗の介護 車いす介助(段差・EV)/杖歩行	第24回	自立に向けた身じたくの介護 (爪の手入れ、ひげそり、化粧、耳掃除)			
	第10回	自立に向けた移動・移乗の介護 ガイドヘルプ/ 麻痺の種類	第25回	自立に向けた身じたくの介護 着脱の介助(座位) ①			
	第11回	自立に向けた移動・移乗の介護 体位名称、ボディメカニクス	第26回	自立に向けた身じたくの介護 着脱の介助(座位) ②			
	第12回	自立に向けた移動・移乗の介護 体位変換/ 仰臥位→側臥位	第27回	自立に向けた身じたくの介護 着脱の介助(臥位) ①			
	第13回	自立に向けた移動・移乗の介護 体位変換/ 仰臥位→端座位	第28回	自立に向けた身じたくの介護 着脱の介助(臥位) ②			
	第14回	自立に向けた移動・移乗の介護 体位変換 端座位→立位	第29回	自立に向けた身じたくの介護 着脱の介助 コミュニケーション			
	第15回	自立に向けた移動・移乗の介護 体位変換/ コミュニケーション	第30回	自立に向けた身じたくの介護 口腔ケア①			
使用教材	最新 介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ 中央法規 最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ 中央法規 根拠に基づく生活支援技術の基本 DVD 中央法規						
評価方法	筆記試験 60% 実技評価 40% 授業参加度(授業理解度、技術習得度、積極性、提出物)により、5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	石川	田井 平石

2025年度 シラバス

科 目 名	生活支援技術Ⅰ						
担当教員	平石 基樹						
実務経験	無 / (有) 介護施設で介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科 1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数	30/90
授業目標	1. 尊厳の保持や自立支援、本人主体の生活継続において必要な知識を理解する。 2. 介護を必要とする人の能力の活用・発揮し、自立を支援するための生活支援技術 の基礎的な知識・技術を習得する。						
授業内容	第31回	自立に向けた身じたくの介助 口腔ケア②					
	第32回	自立に向けた身じたくの介護 ゆかたの介助(臥位)					
	第33回	実技復習／ベッドメイキング、車いす					
	第34回	実技復習/ 杖歩行、移乗、口腔ケア					
	第35回	実技復習/体位変換、着脱					
	第36回	実技復習/着脱、整髪 生活支援と介護過程					
	第37回	生活支援と介護過程					
	第38回	模擬試験問題、解説					
	第39回	実技評価課題演習①					
	第40回	実技評価課題演習②					
	第41回	実技評価課題演習③					
	第42回	実技評価試験①					
	第43回	実技評価試験②					
	第44回	実技評価試験③ 総まとめ					
	第45回	前期定期試験					
使用教材	最新 介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ 中央法規						
	最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ 中央法規						
	根拠に基づく生活支援技術の基本 DVD 中央法規						
評価方法	筆記試験 60%						
	実技評価 40%						
	授業参加度(授業理解度、技術習得度、積極性、提出物)により、5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
	菅	石川	田井 平石

2025年度 シラバス

科 目 名	生活支援技術Ⅱ						
担当教員	平石 基樹						
実務経験	無 / <u>有</u>) 介護施設で介護福祉士として実務経験あり						
学科学年	介護福祉科 1年	前期 ・ <u>後期</u>	<u>講義</u> ・ <u>実習</u>	単位数		時間数	60/90
授業目標	1. 様々な心身状況にある対象者を理解し、個人に合わせた介護を実践することができる。 2. 対象者の状況に応じた介護の実践において、具体的根拠を説明することができる。						
授業内容	第 1回	自立に向けた入浴・清拭の介護 入浴の介助①	第 16回	ポータブルトイレの介助②			
	第 2回	入浴の介助② 洗身、個浴・機械浴	第 17回	尿器・差し込み便器の介助①			
	第 3回	入浴の介助③ 洗身、個浴・機械浴	第 18回	尿器・差し込み便器の介助②			
	第 4回	入浴の介助④ 洗身、個浴・機械浴	第 19回	尿器・差し込み便器の介助③			
	第 5回	清拭の介助① 全身清拭	第 20回	おむつの介助①			
	第 6回	清拭の介助② 全身清拭	第 21回	おむつの介助②			
	第 7回	清拭の介助③ 部分清拭、陰部洗浄	第 22回	おむつの介助③			
	第 8回	手浴の介助①	第 23回	おむつの介助④			
	第 9回	手浴の介助②	第 24回	その他の排泄介助			
	第10回	足浴の介助①	第 25回	自立に向けた食事の介護			
	第11回	足浴の介助②	第 26回	食事介助① 座位			
	第12回	洗髪の介助①	第 27回	食事介助② 臥位			
	第13回	洗髪の介助②	第 28回	食事介助① 臥位			
	第14回	自立に向けた排泄の介護 トイレ介助	第 29回	日本食の調理実習①			
	第15回	ポータブルトイレの介助①	第 30回	日本食の調理実習②			
使用教材	最新 介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ 中央法規						
	最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ 中央法規						
	福祉施設における危険 予知 訓練 (KYT) かんたんガイド 筒井書房						
評価方法	筆記試験 60%						
	実技評価 40%						
	授業参加度(授業理解度、技術習得度、積極性)により、5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科 目 名	生活支援技術Ⅱ						
担当教員	平石 基樹						
実務経験	無 / (有) 介護施設で介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科1年	前期 ・ (後期)	(講義) ・ (実習)	単位数		時間数	30/90
授業目標	1. 様々な心身状況にある対象者を理解し、個人に合わせた介護を実践することができる。 2. 対象者の状況に応じた介護の実践において、具体的根拠を説明することができる。						
授業内容	第 31回	事例検討① 内容理解、具体的介助の方法					
	第 32回	事例検討② コミュニケーション					
	第 33回	事例検討③ コミュニケーション					
	第 34回	事例検討④ グループ発表					
	第 35回	事例検討⑤ グループ発表					
	第 36回	応急手当の知識と技術① 外傷・骨折・窒息					
	第 37回	応急手当の知識と技術② 熱傷・呼吸困難・熱中症					
	第 38回	全体振り返り					
	第 39回	実技評価課題演習①					
	第 40回	実技評価課題演習②					
	第41回	実技評価課題演習③					
	第42回	実技評価①					
	第43回	実技評価②					
	第44回	実技評価③ 危険予知トレーニング まとめ					
	第45回	後期定期試験					
使用教材	最新 介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ 中央法規						
	最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ 中央法規						
	福祉施設における危険 予知 訓練 (KYT) かんたんガイド 筒井書房						
評価方法	筆記試験 60%						
	実技評価 40%						
	授業参加度(授業理解度、技術習得度、積極性)により、5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
	(菅井)	(石川)	(田井) (平石)

2025年度 シラバス

科 目 名	生活支援技術Ⅲ						
担当教員	田井 朋子						
実務経験	無 / <u>有</u> (介護施設で介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科 1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数	60
授業目標	①安全に生活するために必要な、環境整備や福祉用具の活用等において知識・技術を身につける。 ②人生の最終段階において対象者と家族の思いに沿った介護が実践できる。						
授業内容	第 1回	居住環境の整備 住まいの役割と機能①	第 16回	休息・睡眠の介護 多職種との連携①			
	第 2回	居住環境の整備 住まいの役割と機能②	第 17回	休息・睡眠の介護 多職種との連携②			
	第 3回	居住環境の整備 安全に暮らすための生活環境①	第 18回	人生の最終段階における介護 最終段階の介護の意義と役割①			
	第 4回	居住環境の整備 安全に暮らすための生活環境②	第 19回	人生の最終段階における介護 最終段階の介護の意義と役割②			
	第 5回	居住環境の整備 多職種連携	第 20回	人生の最終段階の介護 死の受容過程			
	第 6回	福祉用具の意義 福祉用具の重要性①	第 21回	人生の最終段階の介護 死をむかえる人の介護①			
	第 7回	福祉用具の意義 福祉用具の重要性②	第 22回	人生の最終段階の介護 死をむかえる人の介護②			
	第 8回	福祉用具の意義 福祉用具の種類と選定①	第 23回	人生の最終段階の介護 死をむかえた人の介護①			
	第 9回	福祉用具の意義 福祉用具の種類と選定②	第 24回	人生の最終段階の介護 死をむかえた人の介護②			
	第10回	休息・睡眠の介護 休息・睡眠とは①	第 25回	人生の最終段階の介護 死をむかえた人の介護③			
	第11回	休息・睡眠の介護 休息・睡眠とは②	第 26回	人生の最終段階の介護 グリーフケア			
	第12回	休息・睡眠の介護 ベッドメイキング①	第 27回	災害時における生活支援①			
	第13回	休息・睡眠の介護 ベッドメイキング②	第 28回	災害時における生活支援②			
	第14回	休息・睡眠の介護 睡眠障害とその支援①	第 29回	災害時における生活支援③			
	第15回	休息・睡眠の介護 睡眠障害とその支援②	第 30回	後期定期試験			
使用教材	最新介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ 中央法規 最新介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ 中央法規						
評価方法	筆記試験 70% 実技評価 30% 授業態度、意欲により5点以内の加点						

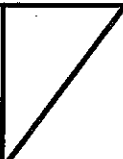
教務主任	学科長	担任
		

2025年度 シラバス

科目名	介護過程Ⅰ						
担当教員	荒井 るり子						
実務経験	無 ☒ 有 ☐ （ 高齢者施設で実務経験あり ）						
学科学年	介護福祉科/ 1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数	30
授業目標	①身近な事例に対して課題解決の思考過程がとれる。 ②介護過程を展開する意義が自分の言葉で説明ができる。						
授業内容	第 1回	介護過程の意義と基礎的理解① くらしてなんだろう①					
	第 2回	介護過程の意義と基礎的理解② くらしてなんだろう②					
	第 3回	介護過程の意義と基礎的理解③ 観察の視点①					
	第 4回	介護過程の意義と基礎的理解④ 観察の視点②					
	第 5回	介護過程の意義と基礎的理解⑤ かかわりの基礎としてのコミュニケーション①					
	第 6回	介護過程の意義と基礎的理解⑥ かかわりの基礎としてのコミュニケーション②					
	第 7回	介護過程の意義と基礎的理解⑦ 記録の演習①					
	第 8回	介護過程の意義と基礎的理解⑧ 記録の演習②					
	第 9回	介護過程の意義と基礎的理解⑨ 課題解決思考とは①					
	第10回	介護過程の意義と基礎的理解⑩ 課題解決思考とは②					
	第11回	介護過程の意義と基礎的理解⑪ 介護過程展開のプロセス①					
	第12回	介護過程の意義と基礎的理解⑫ 介護過程展開のプロセス②					
	第13回	介護過程の意義と基礎的理解⑬ 個別援助計画①					
	第14回	介護過程の意義と基礎的理解⑭ 個別援助計画②					
	第15回	定期試験					
使用教材	最新介護福祉士養成講座 9 介護過程（第2版） 中央法規出版						
評価方法	①前期末試験 70%						
	②課題（演習レポート） 30%						
	授業の取り組み姿勢などから必要に応じ5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科目名	介護過程Ⅰ						
担当教員	石川 幸子						
実務経験	無 <u>有</u> （ 高齢者施設で介護支援専門員として実務経験あり ）						
学科学年	介護福祉科/ 1年	前期 ・ <u>後期</u>	<u>講義</u> ・ 実習	単位数		時間数	30
授業目標	①身近な事例に対して課題解決の思考過程がとれる。 ②介護過程を展開する意義が自分の言葉で説明ができる。 ③介護過程の構成要素と、その具体的内容が列挙できsる。 ④ICFの視点に基づいて情報収集ができ、現在持っている知識に基づいてアセスメントができる。						
授業内容	第 1回	課題解決思考とは 身近な事例を用いて、課題解決思考を展開する					
	第 2回	介護過程の意義・目的 介護過程のプロセス、意義・目的					
	第 3回	介護過程の展開① アセスメント（情報収集）					
	第 4回	介護過程の展開② アセスメント（解釈・関連づけ・統合化）					
	第 5回	介護過程の展開③ 介護計画の立案					
	第 6回	介護過程の展開④ 介護の実施、評価					
	第 7回	介護過程の実践的展開① 事例をもとに情報収集（グループワーク）					
	第 8回	介護過程の実践的展開② 事例をもとにアセスメント（グループワーク）					
	第 9回	介護過程の実践的展開③ 事例をもとに介護計画の立案（グループワーク）					
	第10回	介護過程の実践的展開④ 事例をもとに発表とまとめ					
	第11回	介護過程の実践的展開⑤ 事例をもとに情報収集（個人ワーク）					
	第12回	介護過程の実践的展開⑥ 事例をもとにアセスメント（個人ワーク）					
	第13回	介護過程の実践的展開⑦ 事例をもとに介護計画の立案（個人ワーク）					
	第14回	介護過程の実践的展開⑧ 事例をもとに発表とまとめ（レポート提出）					
	第15回	後期試験					
使用教材	最新介護福祉士養成講座 9 介護過程（第2版） 中央法規出版						
評価方法	1. 後期末試験 70%						
	2. 課題（事例レポート） 30%						
	授業の取り組み姿勢などから必要に応じ5点以内の加点						

教務主任	学科長	担任
		 

2025年度 シラバス

科目名	介護総合演習Ⅰ						
担当教員	荒井 るり子						
実務経験	無 / (有) (介護施設で介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科1学年	前期 ・ 後期	講義 ・ (実習)	単位数		時間数	30
授業目標	・実習施設についての理解を深める。 ・利用者の生活の場を理解し、介護福祉専門職としての態度を養う。 ・介護福祉士が求められる役割と機能を理解する。						
授業内容	第1回	オリエンテーション					
	第2回	施設実習Ⅰの概要・意義・目的					
	第3回	施設実習の理解					
	第4回	実習準備 ①実習生の心構え、注意事項の確認					
	第5回	実習準備 ②実習要項の確認、個人票の作成					
	第6回	実習準備 ③実習経路の確認(GW) 小テスト					
	第7回	実習準備 ④経路確認、あいさつ					
	第8回	実習準備 ⑤経路確認、あいさつ					
	第9回	実習直前指導 実習日誌の書き方					
	第10回	実習の振り返り ①お礼状の作成					
	第11回	実習の振り返り ②記録の整理					
	第12回	実習の振り返り ③実習総括レポートの作成					
	第13回	実習の振り返り ④発表					
	第14回	全体まとめ					
	第15回	前期定期試験					
使用教材	最新介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習 中央法規出版						
	『介護実習で困らないためのQ&A 実習生としての心得50』2019. 初版第2刷						
	適宜プリントを配布する。 DVD視聴学習「見て知る介護実習入門 Vol.1,2」丸善						
評価方法	出席率100%を原則とする。達成できない場合は、特別補講を実施する。						
	筆記試験80% グループワーク20%						
	小テスト、授業参加姿勢(意欲、理解度)により必要に応じて5点以内の加点						

教務主任	学科長	担任
菅井	石川	田井 平石

2025年度 シラバス

科目名	介護総合演習Ⅱ						
担当教員	荒井 るり子						
実務経験	無 / <u>有</u> (介護施設で介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科1学年	前期 ・ <u>後期</u>	講義 ・ <u>実習</u>	単位数		時間数	30
授業目標	・ 入所施設実習の意義と目的を理解し、主体的な実習となるような準備・計画立てができる。						
	・ 各領域で学んだ知識と施設実習を通して学んだ技術を結び付け、理解を深める。						
授業内容	第 1回	オリエンテーション					
	第 2回	施設実習Ⅱの概要・意義・目的					
	第 3回	施設実習の理解					
	第 4回	実習準備 ①実習要項の確認、個人票の作成					
	第 5回	実習準備 ②実習経路の確認 (GW)、小テスト					
	第 6回	実習準備 ③経路確認、あいさつ					
	第 7回	実習準備 ④ "					
	第 8回	実習直前指導 記録の書き方、実習生の心構え、諸注意					
	第 9回	実習の振り返り ①お礼状の作成					
	第10回	実習の振り返り ②記録の整理					
	第11回	実習の振り返り ③実習統括レポートの作成					
	第12回	実習の振り返り ④ "					
	第13回	実習の振り返り ⑤発表					
	第14回	実習Ⅰ・Ⅱの振り返り、次回実習に向けて					
	第15回	後期定期試験					
使用教材	最新介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習 中央法規出版						
	『介護実習で困らないためのQ&A 実習生としての心得50』2019. 初版第2刷						
	適宜プリントを配布する。 DVD視聴学習「見て知る介護実習入門 Vol. 1, 2」丸善						
評価方法	出席率100%を原則とする。達成できない場合は、特別補講を実施。						
	筆記試験80%、グループワーク20%						
	小テスト、授業参加姿勢(意欲、理解度)により必要に応じて5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
			 

2025年度 シラバス

科 目 名	介護実習Ⅰ－1						
担当教員	石川 幸子・荒井 るり子・田井 朋子・松原 照子・平石 基樹						
実務経験	無 / (有) (高齢者施設等での介護業務等の実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科1年	(前期) ・ 後期	講義 ・ (実習)	単位数		時間数	40
授業目標	①実習生としてのルールが順守でき、学習者としての態度を身につける。 ②利用者との関りから、介護を必要とする高齢の対象者の全体像を知る。 ③介護職の業務や、利用者の生活環境がわかる。						
授業内容	第 1回	1日目	実習経路を理解し、安全に時間を守り通勤する。				
	第 2回		実習に対する身だしなみ、感染症対策、挨拶等を実施する。				
	第 3回	2日目 ～ 5日目	実習指導者や指導担当者からの指示・指導を受ける。				
	第 4回		指導者の指示のもと、コミュニケーションをはじめ利用者との関りを持つ。				
	第 5回		指導者の指示のもと、コミュニケーションをはじめ利用者との関りを持つ。				
	第 6回		指導者の指示のもと、コミュニケーションをはじめ利用者との関りを持つ。				
	第 7回		指導者の指示のもと、コミュニケーションをはじめ利用者との関りを持つ。				
	第 8回		指導者の指示のもと、介護業務を体験する。①				
	第 9回		指導者の指示のもと、介護業務を体験する。②				
	第10回		指導者の指示のもと、介護業務を体験する。③				
	第11回		巡回指導を受け、行った内容の振り返りや修正をおこなう。				
	第12回		実習記録作成のため、学生同士の情報共有を図る。				
	第13回		地域における生活支援の場面に携わる。①				
	第14回		地域における生活支援の場面に携わる。②				
	第15回	5日目	カンファレンスに参加し、実習のまとめを行う。				
使用教材	最新介護福祉士養成講座 9 介護過程 (第2版) 中央法規出版 その他適宜必要テキスト、各授業で配布した資料等を活用する						
評価方法	実習施設指導者と担当教員の双方から評価する。 実習態度、利用者理解、生活支援技術の実践、介護過程の展開等の内容で評価する。						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	石川	田井 平石

2025年度 シラバス

科目名	介護実習Ⅰ－2						
担当教員	石川 幸子・荒井 るり子・田井 朋子・松原 照子・平石 基樹						
実務経験	無 / (有) (高齢者施設等での介護業務等の実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科1年	(前期) ・ 後期	講義 ・ (実習)	単位数		時間数	40
授業目標	①実習生としてのルールが順守でき、学習者としての態度を身につける。 ②利用者との関りから、介護を必要とする様々な対象者を知る。 ③介護職の業務や、利用者の生活環境がわかる。						
授業内容	第 1回	1日目	実習経路を理解し、安全に時間を守り通勤する。				
	第 2回		実習に対する身だしなみ、感染症対策、挨拶等を実施する。				
	第 3回	2日目 ～ 5日目	実習指導者や指導担当者からの指示・指導を受ける。				
	第 4回		指導者の指示のもと、コミュニケーションをはじめ利用者との関りを持つ。				
	第 5回		指導者の指示のもと、コミュニケーションをはじめ利用者との関りを持つ。				
	第 6回		指導者の指示のもと、コミュニケーションをはじめ利用者との関りを持つ。				
	第 7回		指導者の指示のもと、コミュニケーションをはじめ利用者との関りを持つ。				
	第 8回		指導者の指示のもと、介護業務を体験する。①				
	第 9回		指導者の指示のもと、介護業務を体験する。②				
	第10回		指導者の指示のもと、介護業務を体験する。③				
	第11回		巡回指導を受け、行った内容の振り返りや修正をおこなう。				
	第12回		実習記録作成のため、学生同士の情報共有を図る。				
	第13回		地域における生活支援の場面に携わる。①				
	第14回		地域における生活支援の場面に携わる。②				
	第15回	5日目	カンファレンスに参加し、実習のまとめを行う。				
使用教材	最新介護福祉士養成講座 9 介護過程（第2版） 中央法規出版 その他適宜必要テキスト、各授業で配布した資料等を活用する						
評価方法	実習施設指導者と担当教員の双方から評価する。 実習態度、利用者理解、生活支援技術の実践、介護過程の展開等の内容で評価する。						

	教務主任	学科長	担任
	(実)	(実)	(田井) (平石)

2025年度 シラバス

科目名	介護実習Ⅱ－1						
担当教員	石川 幸子・荒井 るり子・田井 朋子・松原 照子・平石 基樹						
実務経験	無 / (有) (高齢者施設等での介護業務等の実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科1年		前期 ・ (後期)	講義 ・ (実習)	単位数		時間数 80
授業目標	①介護過程の展開としての情報収集の方法を学ぶ。 ②コミュニケーション障害のある利用者との意思疎通の方法を学ぶ。 ③生活支援技術を行う基礎的な能力を習得する。						
授業内容	第 1回	1日目	指導者の指示のもと、コミュニケーションをはじめ利用者との関りを持つ。				
	第 2回	1日目 ～ 9日目	指導者の指示のもと、介護業務を体験する。①				
	第 3回		指導者の指示のもと、介護業務を体験する。②				
	第 4回		指導者の指示のもと、介護業務を体験する。③				
	第 5回		指導者の指示のもと、介護業務を体験する。④				
	第 6回		指導者の指示のもと、介護業務を体験する。⑤				
	第 7回		介護支援の手順や留意点の説明を受け、根拠を考える機会を作る。①				
	第 8回		介護支援の手順や留意点の説明を受け、根拠を考える機会を作る。②				
	第 9回		介護過程展開のために必要な情報を収集する視点で、利用者との関りを持つ。①				
	第10回		介護過程展開のために必要な情報を収集する視点で、利用者との関りを持つ。②				
	第11回		実習指導者や指導担当者からの指導・指示を受け、自身の振り返りを行う。				
	第12回		巡回指導を受け、行った内容の振り返りや修正をおこなう。				
	第13回		職員間の情報共有の場に参加・見学を行う。				
	第14回		実習記録作成のため、学生同士の情報共有を図る。				
	第15回	10日目	カンファレンスに参加し、実習のまとめを行う。				
使用教材	最新介護福祉士養成講座 9 介護過程 (第2版) 中央法規出版 その他適宜必要テキスト、各授業で配布した資料等を活用する						
評価方法	実習施設指導者と担当教員の双方から評価する。 実習態度、利用者理解、生活支援技術の実践、介護過程の展開等の内容で評価する。						

	教務主任	学科長	担任
	(章)	(川)	(田井) (平石)

2025年度 シラバス

科目名	認知症の理解						
担当教員	石川 幸子						
実務経験	無 / ☒ 有（ 高齢者施設において介護福祉士として実務経験あり ）						
学科学年	介護福祉科/1学年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数		時間数	30/60
授業目標	認知症の人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識が持てる						
授業内容	第1回	講義ガイダンス・認知症とは①：定義					
	第2回	認知症とは②：歴史的変遷					
	第3回	認知症のある高齢者の現状と今後、認知症とはなにか					
	第4回	脳のしくみ① 脳の構造・機能、認知症の病理					
	第5回	脳のしくみ② 脳の構造と症状との関係、老化と認知症の関係					
	第6回	認知症の人の心理 段階に応じた心身の変化					
	第7回	中核症状の理解① 記憶障害					
	第8回	中核症状の理解② 見当識障害、遂行機能障害等					
	第9回	生活障害の理解 生活、家族、社会とのかかわりへの影響					
	第10回	BPSDの理解① 定義、要因、心理症状					
	第11回	BPSDの理解② 主なBPSD					
	第12回	認知症の原因疾患と症状・生活障害① アルツハイマー型認知症、血管性認知症					
	第13回	認知症の原因疾患と症状・生活障害② レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症					
	第14回	認知症の原因疾患と症状・生活障害③ 若年性認知症、その他の認知症					
	第15回	前期定期試験					
使用教材	最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解（第2版） 中央法規 適宜 パワーポイント・配布プリントを用いる						
評価方法	筆記試験100%（前期40%） 授業の取り組み姿勢などから必要に応じ5点以内の加点						

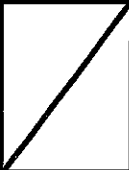
	教務主任	学科長	担任
			 

2025年度 シラバス

科目名	認知症の理解						
担当教員	石川 幸子						
実務経験	無 / ☒ (高齢者施設において介護福祉士として実務経験あり)						
学科学年	介護福祉科/1学年	前期 ・ ☒ 後期	☒ 講義 ・ 実習	単位数		時間数	30/60
授業目標	①認知症の人の、本人主体のケアが具体的にわかる。 ②認知症の人本人、家族、地域の力を活かした認知症ケアの基本がわかる。						
授業内容	第1回	認知症ケアの実際① アセスメントツール					
	第2回	認知症ケアの実際② 健康状態のアセスメント、コミュニケーション					
	第3回	認知症ケアの実際③ 認知症の人へのケア					
	第4回	認知症ケアの実際④ 様々なアプローチ					
	第5回	認知症ケアの実際⑤ 終末期医療と介護					
	第6回	認知症ケアの実際⑥ 環境づくり					
	第7回	認知症ケアの理念と現状① 社会環境、倫理・権利擁護					
	第8回	認知症ケアの理念と現状② 本人主体のケア、認知症当事者の視点					
	第9回	認知症の診断と重症度					
	第10回	認知症の治療薬、認知症の予防					
	第11回	認知症にかかわる介護者支援① 介護者の状況・課題					
	第12回	認知症にかかわる介護者支援② 家族の心理過程と葛藤、家族への支援					
	第13回	認知症にかかわる地域支援① 認知症の人の地域生活支援					
	第14回	認知症にかかわる地域支援② 他職種連携と協働					
	第15回	後期定期試験					
使用教材	最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 (第2版) 中央法規 適宜 パワーポイント・配布プリントを用いる						
評価方法	筆記試験100% (後期60%) 授業の取り組み姿勢などから必要に応じ5点以内の加点						

	教務主任	学科長	担任
			 

2025年度 シラバス

科目名	こころとからだのしくみ							
担当教員	松原 照子							
実務経験	無 / (有) (大学病院にて看護師としての経験あり)							
学科学年	介護福祉科／1学年		(前期) ・ 後期	(講義) ・ 実習	単位数		時間数	60/120
授業目標	こころとからだのしくみⅠ							
	人間の心理や人体の構造・機能を理解するための基本的な知識を理解する							
授業内容	第 1回	ガイダンス	健康の定義	第16回	からだのしくみ	呼吸器		
	第 2回	「健康」づくり・健康観・「健康寿命」		第17回	からだのしくみ	循環器		
	第 3回	人はなぜ病期になるのか	演習1-1	第18回	こころのしくみ	循環器		
	第 4回	こころのしくみ	人間の基本的欲求	第19回	からだのしくみ	消化器		
	第 5回	こころのしくみ	自己実現と尊厳	第20回	からだのしくみ	消化器		
	第 6回	こころのしくみ	こころ・脳・認知	第21回	からだのしくみ	泌尿器		
	第 7回	こころのしくみ	学習・記憶・思考	第22回	からだのしくみ	骨・筋肉、関節		
	第 8回	こころのしくみ	感情・情動・意欲	第23回	からだのしくみ	神経系		
	第 9回	こころのしくみ	適応のしくみ	第24回	からだのしくみ	生殖器・内分泌		
	第10回	からだのしくみ	各部の名称・内臓の名称	第25回	からだのしくみ	血液・体液		
	第11回	からだのしくみ	全身の骨格・骨格筋	第26回	からだのしくみ	バイタルサイン		
	第12回	からだのしくみ	細胞・遺伝	第27回	からだのしくみ	薬の知識		
	第13回	からだのしくみ	脳・神経	第28回	介護職の医療ケア			
	第14回	からだのしくみ	感覚器	第29回	総まとめ			
	第15回	からだのしくみ	感覚器	第30回	前期定期試験			
使用教材	①『最新 介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ』第2版 中央法規 2022							
	②『ぜんぶわかる人体解剖図』 成美堂出版 2013							
	③介護福祉士国家試験 書いて覚える！合格ドリル 2022 中央法規							
評価方法	・ 定期試験：筆記試験100%							
	・ 授業態度							

教務主任	学科長	担任
		

2025年度 シラバス

科目名	こころとからだのしくみ						
担当教員	松原 照子						
実務経験	無 / (有) (大学病院にて看護師としての経験あり)						
学科学年	介護福祉科/1学年	前期 ・ (後期)	(講義) ・ 実習	単位数		時間数	60/120
授業目標	こころとからだのしくみⅡ 日常生活支援の場面、移動、身じたく、食事、入浴、排泄、休息・睡眠等の生活場面ごとに、こころとからだのしくみ、心身機能低下や障害が生じた場合に及ぼす影響、変化に対する観察ポイントを学ぶ						
授業内容	第31回	移動のしくみ	基本的姿勢、ボディメカニクス	第46回	入浴	変化の気づきと対応	
	第32回	移動のしくみ	心身機能低下の影響	第47回	排泄のしくみ	排泄行為	
	第33回	移動のしくみ	変化の気づきと対応	第48回	排泄のしくみ	からだのしくみ	
	第34回	身じたくのしくみ	身じたくの必要性	第49回	排泄のしくみ	人工膀胱・肛門	
	第35回	身じたくのしくみ	からだのしくみ	第50回	排泄のしくみ	心身の機能低下が及ぼす影響	
	第36回	身じたくのしくみ	心身機能低下が及ぼす影響	第51回	排泄のしくみ	変化の気づきと対応	
	第37回	身じたくのしくみ	変化の気づきと対応	第52回	休息・睡眠のしくみ		
	第38回	食事	1日に必要な栄養素	第53回	休息・睡眠のしくみ		
	第39回	食事	摂食と嚥下運動、治療食	第54回	休息・睡眠のしくみ		
	第40回	食事	心身機能低下が及ぼす影響	第55回	休息・睡眠のしくみ		
	第41回	食事	変化の気づきと対応	第56回	「死」のとりえ方		
	第42回	入浴	清潔保持のしくみ	第57回	「死」に対する心の理解		
	第43回	入浴	清潔保持のしくみ	第58回	死後のからだの理解		
	第44回	入浴	清潔保持のしくみ	第59回	総まとめ		
	第45回	入浴	心身機能低下が及ぼす影響	第60回	後期定期試験		
使用教材	①『最新 介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ』第2版 中央法規 2022 ②『ぜんぶわかる人体解剖図』 成美堂出版 2013 ③介護福祉士国家試験 書いて覚える！合格ドリル 2022 中央法規						
評価方法	・定期試験：筆記試験100% ・授業態度						

	教務主任	学科長	担任
			